



教育部会

令和7年度 活動計画

地域サポートセンター仲よし
川口 芳美

【活動目的】

- ①学校間(市と県、小・中・高)の連携、および教育と福祉の連携を深めると共に、地域ごとに児童・生徒を支えていくための仕組みづくりを行う。
- ②特別支援学校高等部３年間で、福祉制度等の必要な情報提供と相談窓口へのつなぎを行う。

【活動内容】

- ・教育と福祉の連携における課題について、個別支援よりも大きな枠組で捉えて検討する。検討した結果を関係機関で共有する。
- ・協議会の各専門部会との連携、他機関への働きかけを行う。

【構成員】

- ・ 旭川荘療育・医療センター顧問
- ・ 岡山市障害福祉課
- ・ 岡山市教育委員会
- ・ 岡山県教育庁特別支援教育課
- ・ 特別支援学校 8 校（岡山市に所在地がある学校）
- ・ 相談支援事業所（各地域部会代表）
- ・ 岡山市障害者基幹相談支援センター



【開催】 奇数月 第2金曜日 午後 旭川荘内にて

令和7年度の活動計画

1. 教育と福祉の連携の推進 (2つのワーキンググループによる活動)

WG①情報発信

(1)児童を対象とした福祉サービスの説明資料『フクセツ・キッズ』

令和7年度5月の教育部会での完成を目指して、引き続き作成する。

6月の協議会全体会で提示する。

協議会ホームページ『え～んじゃネット』に掲載する。



令和7年度の活動計画

(2) 『フクセツ・キッズ』の広報活動

- ・ 障害のあるこどもの保護者
- ・ 特別支援学校、支援学級、高校、専門学校等の教職員
- ・ 障害児福祉サービスの関係者
- ・ 障がいのあるこどもに関わる行政機関（こども総合相談所、地域子ども相談センター、保健センター等）

(3) 福祉サービス説明資料（フクセツ）の改訂（広報部会との連携）

令和7年度の活動計画

WG②座談会の開催



- ・ 教員と相談支援専門員が相互に学べる場、
話せる場（**座談会**）を年2回開催（8月・2月に実施予定）
→ 市立の小・中学校の教員も参加しやすい時期に実施する。
- ・ 座談会での『**フクセツ・キッズ**』の活用

令和7年度の活動計画

2. 特別支援学校の学校行事の実施

- ・福祉制度説明会、地区別懇談会、移行支援会議の実施（高等部）
- ・生活介護事業所説明会の実施

3. 地域課題の検討

他の部会から挙げられた地域課題について情報交換や検討を行う。

4. 医療的ケア児の支援に関する検討

医療的ケア児WGに参加し、学齢期の医療的ケア児の課題を検討する。